

公園施設の魅力向上プラン

遊び心を揺さぶる、心ときめく公園をめざして

公園施設の現状と課題

公園は市民のみなさまが憩いや快適性を求める場所として多くの方々に利用されています。大阪市内の「地域の顔」となる公園には自由広場や大型遊具など特徴ある公園施設が設置されています。一方で、身近な公園については、利用者の安全性確保のため、回転や上がり下がりするといった揺動系遊具や大型遊具の設置は少なく、その結果、遊具構成が画一的になっています。



公園施設の現状と課題を踏まえ、魅力的な遊具やベンチの設置およびトイレの快適性向上を検討するため、利用者アンケートやワークショップの結果に基づき、公園施設の魅力向上プランを策定する。

魅力向上プランとは

大阪市全域の都市公園を対象として、市民のみなさまがより心地よく公園を利用していただけるように、利用者アンケートや地域ニーズを踏まえて、魅力ある遊具の設置や特徴的な遊具の改修を行うことによる再整備（リノベーション）を実施することで、公園施設の魅力を向上させるプラン。

遊具

(基本方針①)

遊具の更新時期には、子どもたちがよく利用する遊具や人気のある遊具の設置を進めていきます。

- ◆ よく利用する遊具（例）：ぶらんこ、複合遊具、すべり台
- ◆ 好きな遊具（例）：コンクリート製の遊具、インクルーシブ遊具

※利用者アンケートの結果より

(基本方針②)

人気が高く特徴的な遊具については、計画的な補修を実施し、できる限り長期的に維持していきます。

- ◆ 特徴的な遊具（例）：石山、クライミングスライダー

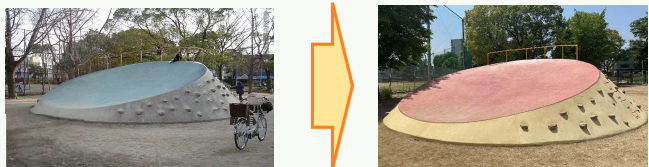
(基本方針③)

利用頻度の低い遊具は、利用者がより楽しめる遊具への更新やパーツの追加を行いながら、遊具の配置・種類の整理を進めていきます。

<例：2連ぶらんこからインクルーシブ遊具へ更新>



<例：特徴的な遊具の補修>



<例：プレイタイヤからシーソー等への更新>



ベンチ

ベンチの材質を適切に選定するとともに、遊具との位置関係や日陰、日当たりへの配慮を踏まえたうえで、配置を行っていきます。



トイレ

トイレをより快適な空間とするため、快適性および機能性の向上を図り、利用者にとって使いやすく清潔で明るいトイレ環境を提供していきます。

※本市設置基準に合致したトイレを本プランの対象としています。

<例：トイレのプライバシー対策>

<例：和式から洋式化への機能向上>



(フェンス設置)



(生垣設置)

大阪市緑の基本計画<2026>に基づき、計画前期(2026~2030)および後期(2031~2035)を通して、「利用者の意見を反映した都市公園の魅力向上」に取り組みます。前期のLP指数として、対象となる公園における利用者数や滞在時間の基準値および目標値を定めます。

今後のプランの活用方法

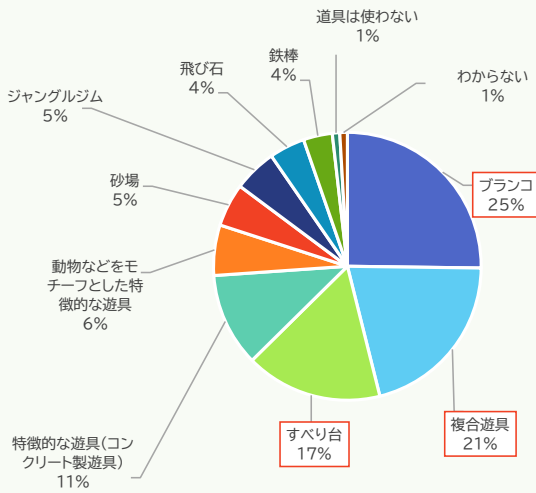
遊具・ベンチ・トイレについては、本プランに基づき、改修に合わせた整備を進めていきます。遊具の設置にあたっては、周辺施設の状況（利用圏内の配置等）を踏まえ、設置スペースの確保や既設遊具の整理を行うとともに、地域ニーズを踏まえて整備していきます。ベンチについては、効果的に活用できるよう、配置および仕様を検討したうえで整備していきます。トイレについては、照明設備のLED化をはじめ、プライバシー対策として植栽や柵の設置等についても、実施可能なものから順次対応していきます。

《参考：資料編》

利用者アンケートの結果

アンケート結果は令和7年3月15日時点

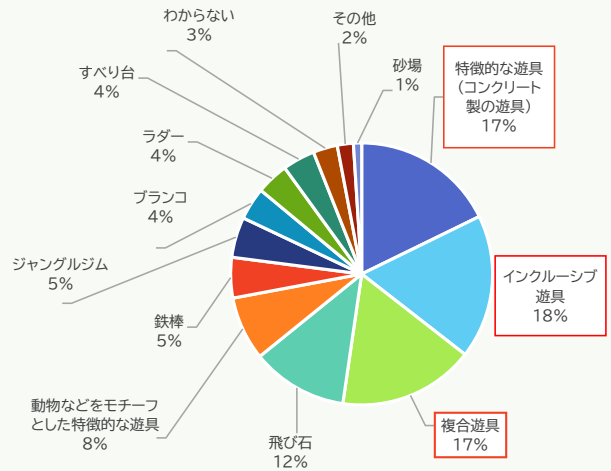
◆こどもが公園でよく利用する遊具



「こどもが公園でよく利用する遊具」

- 1位 ぶらんこ
- 2位 複合遊具
- 3位 すべり台

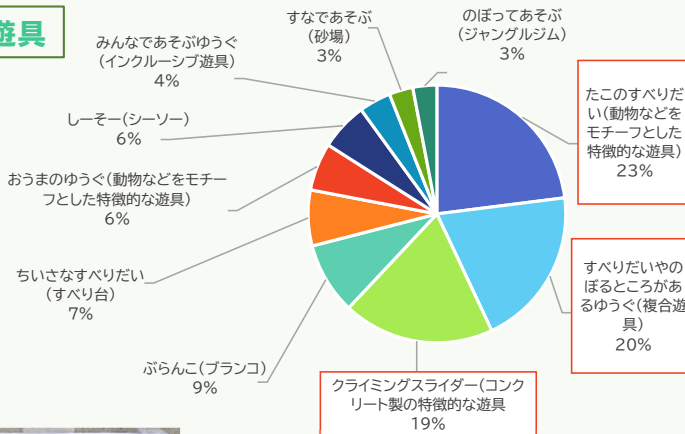
◆設置してほしい遊具



「設置してほしい遊具」

- 1位 特徴的な遊具(コンクリート製の遊具)
- 2位 インクルーシブ遊具
- 3位 複合遊具

◆こどもが好きな遊具



「こどもが好きな遊具」

- 1位 たこのすべり台
(動物などをモチーフにした特徴的な遊具)
- 2位 すべり台や登るところがある遊具
(複合遊具)
- 3位 クライミングスライダー
(コンクリート製の特徴的な遊具)



こどもたちへのアンケートの様子

よく利用する遊具・好きな遊具・設置してほしい遊具には共通点と差が見られました。これは、それぞれの遊具の設置数によるものと考えられます。

また、「利用頻度」は、1位ぶらんこ、2位複合遊具、3位すべり台の順で、直感的に遊べる定番の遊具が中心となっています。特にぶらんこは設置数が多く、年齢を問わず短時間でも遊びやすいため、日常の利用が多いと考えられます。

一方、設置してほしい遊具は特徴的な遊具(コンクリート製遊具)とインクルーシブ遊具が上位にあり、みんなで遊ぶことができる遊具であることから、より公園の魅力や価値を高める要素への期待がうかがえます。

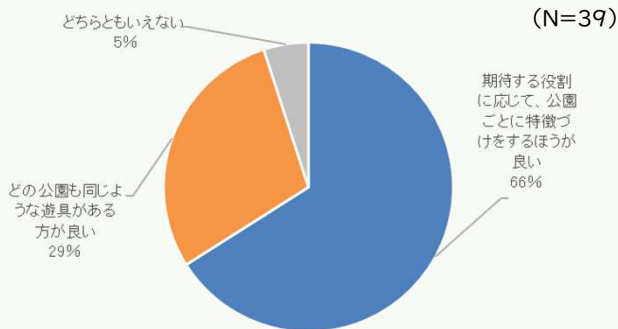
また、好きな遊具では、動物などをモチーフにした特徴的な遊具が多く、見た目の面白さや記憶・印象に強く残っていることが影響しているものと考えられます。

これらのことから、定番の遊具を一定量確保しつつ、コンクリート製・インクルーシブ・象徴的モチーフなどの特徴的な遊具を組み合わせることが、全体的に公園の魅力向上につながると思われます。

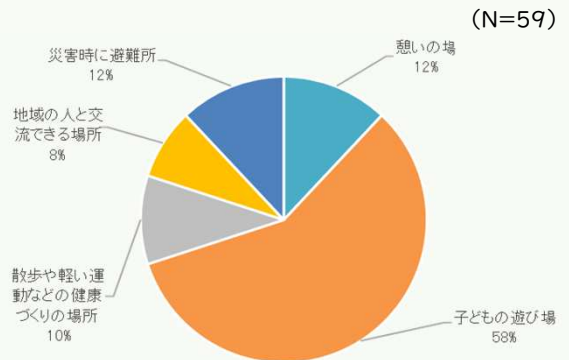
利用者アンケートの結果

アンケート結果は大阪経済大学「東淀川区 公園魅力向上プラン」のアンケート調査より
実施日：令和7年7月10日、8月6日

◆同じような遊具がある身近な公園を今後、どうしていけばよいと思いますか



◆今後の身近な公園に期待する役割



公園の現状や課題を踏まえ、公園利用者や近隣住民を対象とした調査を大阪経済大学と連携して行ったところ、今後の身近な公園に期待する役割の半数以上が「子どもの遊び場」としての役割であり、遊び場として子どもが利用する遊具を適切に管理していくことが重要だということが読み取れます。

また、同じような遊具がある身近な公園を今後、どうしていけばよいかという質問に対しては期待する役割に応じて、公園ごとに特徴づけた方がよいという意見が半数以上占めており、地域のニーズに合わせた特徴的な遊具の設置などにより、公園毎に個性を持たせていくことが重要だということが読み取れます。

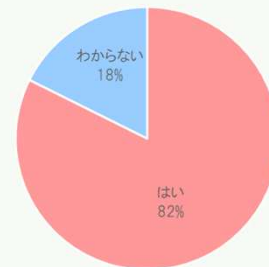
利用者アンケートの結果

アンケート結果は令和6年12月18日時点

◆インクルーシブ遊具の導入に満足していますか？



◆インクルーシブ遊具のような特徴のある遊具があると訪れたいと思いますか？



特徴のある遊具

動物をモチーフにした遊具 (北区：豊崎西公園)	動物をモチーフにした遊具 (西区：九条東公園)	動物をモチーフにした遊具 (港区：八幡屋公園)	動物をモチーフにした遊具 (旭区：新森中央公園)
			
複合遊具 (中央区：大阪城公園)	複合遊具 (北区：扇町公園)	複合遊具 (天王寺区：東高津公園)	複合遊具 (生野区：御勝山南公園)
			
造形遊具 (北区：東天満公園)	ネットクライミング遊具 (生野区：箕公園)	クライミングスライダー	石山
			